

資料番号	3
------	---

令和4年5月19日
課名 土木建築局道路企画課
担当者 課長 秋本
内線 3890

広島高速5号線シールドトンネル工事の進捗状況等について

1 要旨・目的

広島高速道路公社が事業を進めている広島高速5号線のシールドトンネル工事の進捗状況等について報告する。

2 現状・背景

広島高速5号線シールドトンネル工事については、平成30年9月に二葉の里側から掘削を開始し、昨年10月から牛田地区の住宅地区間を掘進しているところであり、地表面沈下の抑制などの対策を取りながら慎重に工事を進めている。

3 概要

(1) 対象者

—

(2) 事業内容（実施内容）

ア 牛田地区におけるシールドトンネル工事の進捗状況

今月16日時点において、シールドトンネル工事の延長約1400mのうち、二葉の里側から約760m地点（住宅地区間約350mのうち約123m地点）まで到達している。住宅地区間の掘削を開始して以降、シールドマシンのトラブルにより4回掘削を停止し、臨時点検を行ったところであるが、地表面沈下等は予め設定している管理値の範囲内に収まっている。

イ シールドトンネル工事の契約変更

安全・安心に工事を進めるための地元対応により生じた費用、掘削に時間を要していることに伴う現場管理費等が必要となっており、これらの費用負担について、公社は受注者と協議を進めている。

本件工事は、特記仕様書において、地元対応などの社会的条件による変更や、現地の施工が当初想定していた条件から大幅に異なる場合などを契約変更の対象としている。

この契約変更の取り扱いを規定している特記仕様書の解釈について、公社と受注者に大きな違いがあるため、現在のところ協議は整っていない。

契約変更について公社と受注者の主張に隔たりが生じている中で、工期末である7月12日がせまっているが、公社は引き続き契約図書に基づき公正性・透明性の確保を優先し適切に対応していく。

(3) スケジュール

—

(4) 予算（単県）

令和4年度 広島高速道路公社出資金・貸付金 1,850百万円

(5) 今後の対応

引き続き、事業主体である公社や広島市と連携し、住民の不信や不安を可能な限り払拭できるよう、適切かつ丁寧な対応に努めながら、着実な事業推進に取り組む。